

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

>>> 遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、全戸配布です。

狩猟者のみなさんへ

国有林におけるエゾシカの狩猟には森林管理署の入林許可が必要です。

冬期間、国有林内では造材、測量、各種森林調査などが行われており、これらの作業の安全確保のため立入禁止区域、期間等を定め、林道の入口等に看板（写真）での表示を行っています。



狩猟者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

なお、入林申請方法や規制状況など、詳しくは留萌北部森林管理署までお問い合わせ下さい。

解体工事中です

11月から旧遠別森林管理センター庁舎の解体工事を進めています。

完了後は公共用地として活用される予定です。



子供達が絵を描いたカラフルな植木鉢にミズナラの苗木を植え付けました。

総合学習で『森林官の出前授業』と『ドングリ植え付け』

遠別小学校2年生のみんなとドングリ教室



「大きくなったら森林官になりたい人?」「はいっ!はいっ!は〜い!!!」。
教室には元気な声が響き渡り、森林官も大感激〜v。



「山の木の太さはこうやって測りま〜す」。
「森林官のおじさ〜ん、それやらせて〜!!!」。
測樹ごっこ大会突入!!!



土に還る再生紙の植木鉢「カミネッコン」に、ドングリの苗木（ミズナラ）をみんなで植えました。
早く大きくなってね!

十一月四日と七日の両日、遠別小学校2年生の皆さんと「ドングリ教室」を開催しました。
初日は遠別森林事務所の中鍵首席森林官が先生役を務める「出前授業」。森やそこに棲む動物たちの話や森林官の仕事などについて、スライドや山仕事の道具を見たりしながら、「子供達との対話」を交え、楽しく勉強しました。
二日目はドングリの苗木を植える「植樹体験」。浜啓明の造林地へ向かう予定でしたが、雨天のため校内での実施になりました。
子供達は「早く大きくなってね」と願いを込めながら紙製の植木鉢に、いねいに苗木を植え付けました。これらは森林官が預かり、天候の回復を待って、予定地へ植え付けし、その様子は後日パネル写真にしてお届けしました。
子供達に森林への興味を持ってもらい、また、所員一同、元気パワ―をもらった大変有意義な二日間になりました。
みんな、また森のお話しようね!

『林野庁のメルマガ』読んでみませんか?



林野庁では、「地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策」をはじめとする森林・林業施策について、みなさんに理解を深めていただくために、メールマガジン『森林(もり)づくりと木づかいの便利』を発行しています。

このメルマガでは、林野庁の施策を紹介するだけでなく、森林ボランティアに関する情報やイベント情報など幅広い情報を掲載し、原則として毎月1回、20日に発行しています。どなたでも無料で利用できますので、登録して読んでみませんか? 登録方法など詳しくは林野庁ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp> をご覧下さい。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

木々の生長を助ける つる切り・除伐作業

大成地区の国有林では、昭和40年代に植え付けを行った造林地が順調に生育を続けています。

そんな中、それらの木々に巻き付き生長を阻害するツル植物を切り取る「つる切り」作業と、植栽木の生長を妨げる自然に生えてきた灌木などの樹木や生長の悪い植栽木などを切り倒す「除伐」作業が進められています。



灌木を切り倒す除伐作業

この作業は非常に手間のかかるものですが、森林の健全な生育に必要不可欠な作業です。

作業が完了した後の造林地は、とてもすっきりし、これなら木々がさらに元気に育ってくれそうです。今後の生長がますます楽しみです。



秋の一日に
楽しみな
りましな



楽しい一日に
楽しみな
りましな

秋の一日に
楽しみな
りましな

秋の一日に
楽しみな
りましな

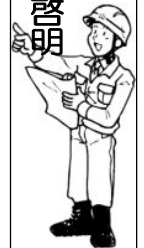
秋の森はどんな感じ？

遠別小三年生のみんなと森林教室



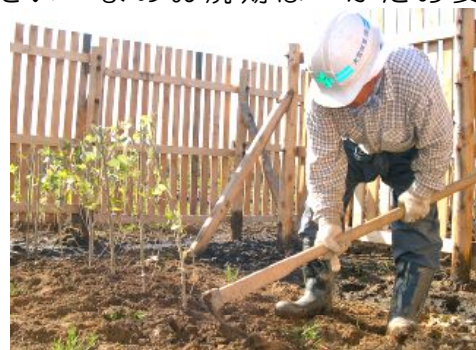
フォレスター通信

海岸を森林地帯に！浜啓明



海岸地帯という厳しい気象条件を克服するため、強風を緩和する防風柵の設置、泥炭地質を克服するための客土を行った上で、通常の造林地の五倍にもなる、一畝当たり一万本もの密植とし、今年はハンノキ、ギンドロ、グイマツなどを二千本植え付けました。

この地区は、かつては森林だったものが開拓期の伐採や山火事により焼失したと伝えられており、長年にわたり森林の造成が続けられていました。



一本一本ていねいに植え付けられました

厳しい環境下ではありますが、長年の手入れにより造林木は着実に生長を続けており、この地区が広大な森林帯になるのも夢ではありません。

その日まで、みなさんと一緒に見守って行きたいと思います。

>>>国有林におけるエゾシカ狩猟について

国有林におけるエゾシカの狩猟には森林管理署の入林許可が必要です。また、立入禁止区域、期間等が定められていますので下記へお問い合わせ下さい。なお、エゾシカ狩猟期間については、安全確保の観点から、狩猟者以外の方の入林は許可しないこととしていますので、ご理解とご協力をお願いします。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜91番地2号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

>完成しました！

>>布引沢治山工事



大成地区・遠別川支流の布引沢で工事が進められていた治山ダムが完成しました。

このダムにより、崩壊堆積した溪流内土砂の安定化とともに、天然木の発生、生長による自然林への再生が図られます。

>>清川地区治山工事



清川地区・ウツツナイ川支流の清川左岸で工事が進められていた山腹崩壊地の緑化工等が完成しました。

施工地には自然災害によって崩れた山肌に植生ネットが張り付けられました。このネットからは草本が発芽、根を下ろし、その生長とともにがっちり急斜面を守り、将来は「緑の山」へ還ります。



首席森林官から保安林の説明を受ける皆さん

九月十二日、「浜啓明防風保安林」において海岸防災林造成地見学と植樹体験会を開催しました。これは遠別町教育振興会理科サークルの活動の一環として行われたもので、当日は小・中学校の先生方八名の参加がありました。

現地は森林造成事業の実施箇所で、平成三年から、海岸の強風を緩和し、農地・道路・家屋を守るためにカシワナラやグイマツを、防風柵・客土・排水工を施した上で植栽しています。一行は遠別森林事務所の中継首席森林官の説明を聞きながら造林地を歩き、過酷な気象条件下で森林造成を進める意義、森林技術などに理解を深めていました。見学後にはミスナラ苗木の「植樹体験」も行い、今後の生長に思いを馳せながら、ていねいに植え付けていました。先生方の植えた木々が早く大きく育って欲しいですね。

森林づくりの現場で見学会

小・中学校の先生と森林教室



順調に生長するアカエゾマツ

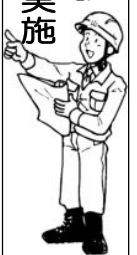
このたび、昨秋にアカエゾマツを造林した清川、大成地区の国有林において、植栽後一年が経過し、それらが順調に生長しているかの調査を行いました。これは「活着率調査」と呼ばれ、植え付けた苗木の生存率を調査し、万が一、気象害などによって枯れてしまったものが一定数を超えた場合に植

え直しをする「補植」を行うための予備調査でもあります。幸い、同地区のアカエゾマツの活着率は、ほぼ一〇〇%、生育も大変良好で一安心。このまま順調に大きく育ってほしいですね。また、中央、正修、奥正修地区の国有林においては、造林木に害を及ぼす「野ネズミの生息数調査」を行いました。これは一定面積にワナを設置し、それによる捕獲数を調べるもので、その数が基準を超えると、薬剤等による駆除が行われますが、今回は異常発生もなく、こちらも一安心。平和な秋になりました。



フォレスター通信

野ネズミ調査等を実施



>>>入林の際はご注意ください

収穫の秋、キノコの季節ですが、山ではヒグマ・スズメバチの活動が想定されます。入林の際は十分ご注意頂くとともに、管轄森林事務所で入林手続きをお願いします。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

新しい看板立ちました！

～北里第一防風保安林～



国道232号線沿いに位置する「北里第一防風保安林」に新しいPR看板が立ちました。

強風を緩和し、私たちの暮らしを守る森林です。大切に守って行きましょう。

境界保全にご協力を！



国有林と民有地等の境界にはコンクリート標等の「境界標」が埋設され、直近の立木等に赤ペンキを塗布し、その「見出し」としてあります。

しかし、その「見出し」自体を境界と誤認されることも多いようです。

正規の境界はコンクリート標等の「境界標」(上記写真)ですので、境界付近で工事や営農作業などをされる際は十分ご注意ください。



客土された造林床へ苗木が植え付けられます

天高く澄み切った青空に秋を感じる今日この頃ですが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか？
現在、浜啓明地区の国有林では秋の造林のための準備作業として、笹等を刈払い、整地し、苗木を植え付けられます。

を植えられるようにする「地拵」(じこうし)と、木の育ちにくい泥炭地質を改良する「客土」作業が行われています。この後引き続き、苗木を強風から守るため、間伐材を活用した「防風柵」の設置工事を行った上で、ナナカマド、ハンノキ、グイマツ、ギンドロ、ヤチダモの苗木を合計二千本植え付けします。

この地区は「防風保安林」に指定されており、海岸からの厳しい風を緩和し、農地・道路・家屋を潮風や吹雪などから守るため、長年、森林の造成が続けられています。厳しい環境下で力強く育つ海岸林、その生長が楽しみです。

今秋も「浜啓明」に造林します

ナナカマド他二〇〇〇本・浜啓明防風保安林



測量機器を使った境界検測作業

森林官の大切な仕事の一つに国有林の「境界管理」があります。国有林と民有地等との間には、その境を示すコンクリート標等の「境界標」が埋設され、さらに、その目印として直近の立木等に赤ペンキを塗布、「見出標」を取付し、遠くからも分かるようにしています。

しかし、自然災害などによって破損、埋没し、その所在が不明となることもあり、その場合には測量機器を使って、境界標の再現をする「境界検測」作業を行います。今期は、清川・丸松・北里地区の防風保安林において同作業を行い、境界を明確にしました。

これらは決められた期間毎に巡視、点検し、破損や侵害(不法占拠など)がないかの確認を行っています。



フォレスター通信

境界検測を実施しました



>>> 地球を守るみんなの財産・国有林

森林は地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素を吸収・貯蔵することから地球温暖化防止への貢献が期待されています。

遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

元気に育て北の森林！
植栽木の保育作業実行中です



カシワナラ造林地の下刈作業

真夏の太陽に向かって伸びるカシワナラの造林地。いつもは風の音しか聞こえない原野に響き渡る草刈り機のエンジン音。この時期、造林地では幼木たちの生長を妨げる下草の刈り取り作業が行われています。

背丈ほどもある周囲の草本に対して、植えられている苗木の高さは五〇センチほど。これでは、すっぽりと覆われてしまつて、陽も当たらず、大きくなれません。

ですから、この作業はこれらが生長し、周囲の



空へ向かって伸びるカシワナラ

植生よりも高くなるまで毎年続けられます。標準的には八年程ですが、夏の短い道北地方では生長も遅く、長めになりがちです。真夏の炎天下に行われる作業ですが、地道な手入れを続けていくことによって、植えられた木々は大きく育って行きます。立派な森林になる日が来るのが待ち遠しいですね。



森林官どんぐり日記

森林事務所では森林教室等のイベント用に、森林官がミズナラの苗木を育てています。

昨秋まきつけたドングリの「観察日記」です。



7月27日 真夏の日差しをたっぷり浴びて、こんなに大きく葉を広げています。

そこで主たる工法として「コンクリート谷止」を用い、安全第一で工事が進められています。

この工事箇所は、山崩れにより発生した土砂が溪流内に堆積し、また、流水による溪岸の浸食も見られることから、今後の豪雨等によりこれらが流出し下流域に被害を与える恐れがあり、その防止策が急務でした。



治山工事が進む布引沢

完成後は、単なる危険防止策としてだけではなく、溪流内の土砂等の安定化により、周囲に新たな天然木の生長も期待できます。



フォレスター通信
大成・布引沢治山工事



>>> 地球を守るみんなの財産 国有林

森林は地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素を森林は吸収・貯蔵することから地球温暖化防止への貢献が期待されています。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

森林官どんぐり日記

森林事務所では森林教室等のイベント用に、森林官がミズナラの苗木を育てています。

昨秋まきつけたどんぐりの「観察日記」を紹介しますね。



6/9 芽が出てきました。



6/13 4cmまで伸びました。



6/15 葉が開いてきました。



6/20 葉が大きくなりました。

北の町にもやっと初夏の風がわたり始めた六月一日、遠別小学校一年生二十二名の皆さんと一緒に、広々とした校庭を歩きながら、色々な植物や虫の勉強をしました。



森林官の説明に興味津々な1年生

当日は「森林インストラクター」資格を持つ、東遠別森林事務所の松並森林官が、元気いっぱいな皆さんが、元気がいい子たちにもたけに圧倒されっぱなしでしたが、楽しい一日になりました。

ん素材な疑問にお答えしました。
新緑あふれる校庭で、色々な草木や花を見つけるとは森林官に「この花はなに?」「この虫の名前は?」というように沢山の質問を寄せたり、それらを興味深そうに観察しながら過ごしました。

最後のまとめには、「一番興味を持ったものを絵に描こう」ということで、銘々がスケッチに取り組み、色々工夫しながら、覚え立ての平仮名で、描いたものの特徴や名前も併せて書き込むなど一生懸命でした。



急傾斜地で施工中「植生ネット工」

町内清川地区を流れるウツナイ川支流「清川」の左岸において、自然災害によって山が崩れた場所を元の森林に回復させるための「治山工事」が進められています。

この工事箇所は、このまま放置すると、さらなる崩壊や崩土による清川の閉塞が危惧されることから、浸食を防止するため

現地では急傾斜のため、命綱を付け、植生ネットを一枚一枚ていねいに張り付けていく作業が進行中です。

完成後には、このネットから草木が発芽、根をおろし、その生長とともにがっかりと急斜面を守り、将来は「緑の山」へ還ります。

森林官と一緒に楽しく勉強！

遠別小学校の一年生のみなさん



フォレスター通信

清川で治山工事です



早急に緑化する必要があります。

そこで、主たる工法として、草木の種が入った網を斜面に張り付けていく「植生ネット工」が採られ、併せて雨水を速やかに排水するための「木製水路工」、「丸太筋工」などが行われます。

>>> 販売目的で山菜の採取をされるみなさんへ

国有林において販売目的（採取したものを山菜業者へ持ち込むことも含みます）で山菜を採取される場合は、森林管理署との林産物売買契約が必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林の情報を毎月お届けします。1500部発行、町内全戸配布です。

>>> OUR FOREST

遠別の66%は国有林

遠別町の総面積の66%は、国民の森林「国有林」が占めています。

遠別の大切な森林を守り育てるために森林管理署では、これらに発揮させるべき機能によって、町内国有林を4つのタイプ等に分けて、それぞれの特性に応じたきめ細かな管理を行っています。

国土保全タイプ

土砂崩れや風害・雪害などを防止する森林。

16,871ha

水源かん養タイプ

生活や産業に欠かせない水資源を確保するための森林。

10,004ha

自然維持タイプ

自然環境を維持し、動植物の生息・生育の場を確保する森林。

3,345ha

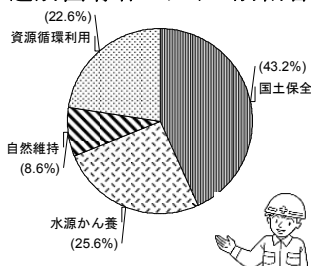
資源の循環利用林

木材を、安定的かつ効率的に生産する森林。

8,843ha

合計 39,063ha

遠別国有林のタイプ別割合



青空の広がった五月二九日、遠別町の春の恒例イベント・富士見ヶ丘公園開き「山菜まつり」が同実行委員会の主管で開催されました。

これに先立ち、遠別森林事務所では、今年も皆さんに森林の恵み「山菜」をお届けするため、国有林での採取協力を行い、業務の合間に一週間程かけ、山菜料理用のギョウジャニンニク、ユキザサ、コゴミ、タラの芽など十種類。また実行委の皆さんと、配布用のフキ、ウドの採取も行いました。

今年は例年よりも雪解けがかなり遅く、山菜類の生育も遅れ気味で採取に苦労もありましたが、なん

国有林の山菜をみなさんへ

森林事務所が採取協力

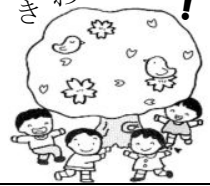


皆さんに喜んでいただいた山菜配布

当日は、素材の味を生かした沢山の山菜料理が用意され、会場は、みなさんの美味しい笑顔でいっぱい。

フキ、ウドの配布にも沢山の方々にならんで頂き大好評。楽しい春の一日になりました。

とか間に合わせることができませんでした。



森林の恵みをみんなで美味しく！
富士見ヶ丘公園開き「山菜まつり」



フォレスター通信

森林づくりの道標く林道

この道はな〜に？

公道から分岐し、鍵付きゲートをくぐると、国有林を山奥へ分け入る細長く続く砂利道・・・この道はいつたいどこへ続いているの？

これは森林を管理するためになくてはならない作業用道路「林道」です。

林道は森林の血管

森林をパトロールしたり、苗木や資材を運んだり、木材を運搬したり、森林づくりをすすめるための道。人間の体に例えると「血管」といったところでしょうか。



総延長130キロ

遠別の国有林には、全長二〇キロを超える長大路線「札士辺林道」をはじめ、全三十三路線、延長約百三十キロに及ぶ林道路網が張り巡らされ、これらを活用したきめ細かな森林管理を行なっています。

森林づくりが始まるよ！

冬の間は通行止だった各路線もやつと雪解け。今年も間もなく、苗木の植付、造林地の下草刈り、除伐等の保育、山地災害の復旧・治山ダム工事等が実施されます。

林道を通して、進められる森林づくり。未来の遠別の森の姿が楽しみです。



>>> 販売目的で山菜の採取をされるみなさんへ

国有林において販売目的（採取したものを山菜業者へ持ち込むことも含みます）で山菜を採取される場合は、森林管理署との林産物買受契約が必要となります。詳しくは下記までお問い合わせ下さい。



遠別の森から

留萌北部森林管理署 遠別・西遠別・東遠別森林事務所

北海道天塩郡遠別町北浜 91 番地 2 号

遠別町のみなさんに国有林のいろいろな情報を毎月お届けします。

>>> our forest

≪ 遠別は森林の町 ≫

遠別町の森林面積は、約 49000ヘクタール。これは町の面積の84%を占めています。そして、森林の76%は国民の森林「国有林」です。

≪ 森林事務所って？ ≫

昔の名前「営林署の担当区事務所」と言った方がなじみが深い方も多いかもしれませんね。

国有林を管理経営する林野庁の現地出先機関で「森林官」等の駐在所です。

全国に約1200カ所あり、遠別町内には、留萌北部森林管理署（天塩町）の下、遠別、西遠別、東遠別の3森林事務所があり、6名の職員が配置されています。

≪ 森林官の仕事？ ≫

「森林官」とは森林事務所の責任者です。それぞれの管轄する国有林において、森林づくりを進めるための各種調査、植林・伐採・林道等の管理事業等に係る監督や検査、森林パトロール、境界の管理、動植物の調査、森林教室のインストラクター、特別司法警察員としての「森林警察」業務など多岐にわたっています。

みなさんこんにちは！
遠別森林事務所です

風薫るさわやかな季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか？

つい最近まで白一色だった野山にやっと巡ってきた春。芽吹く草木、日々濃くなる緑、響き渡る鳥たちのさえずり。そんな山々の心地よい空気を「森からのお便り」として遠別町の皆さんにお伝えできれば：と考え、「森林事務所」ではこの季節を契機に、ミニコミ「遠別の森から」を毎月お届けしていくことになりました。



事務所有り、それぞれに森林官等が配置され、森林づくりの仕事を進めています。

山奥でのことでもあり皆さんには、普段なかなかお目に掛けることができない森林官（フォレスト）の姿や森林づくりのためのいろいろな事業の紹介なども併せてお伝えしていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。



まだ残雪に覆われた山々では「森林調査」が進められています。

今回調査を行ったのは昭和四〇年代に植栽が行われ、約五〇〇年に及ぶトドマツ人工林が広がる清川地区の国有林です。

これは、生長力旺盛な森林を育てるための「間伐」（間引きによる立木密度の調整）の実施に必要なデータ収集を行うためのもので、林内の生育状況や立木密度等を把握するために、植栽木の直径、樹高、本数、天然木の侵入状況などを調査しています。

植栽後約四〇年を経たトドマツは高さ十二メートルとなり、日本海からの強風が吹き付ける厳しい自然環境の中、たくましく生長しています。

人工衛星などからの森林写真からも大まかなデータは得られる昨今ですが、「森林」という生き物をあつかうには、やはり、実際に山に入り、くまなく歩き、よく見る、という作業が不可欠です。

長い年月をかけて育つ森林の姿を大切に見守りながら、今日も森林官は国有林を歩いています。



木の太さを輪尺で測ります



フォレスター通信

残雪越えて森林調査



>>> 春は山火事危険期です！

大切な森林を恐ろしい山火事から守るために、みなさんのご協力をお願いします！

◇山火事危険期間 4月1日～6月30日 ◇強調期間 4月20日～5月31日

